



青少年の健やかな成長にお力添えを

大町市青少年センター所長・生涯学習課長 本堂 勝也

日頃より、青少年の健やかな成長を支える活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

夏休みは、子どもたちがさまざまな体験を通して大きく成長する大切な時期です。一方で、インターネットや SNS の利用時間も増えることで、犯罪やトラブルに巻き込まれる危険性も高まります。何気ない投稿や見知らぬ人とのやり取りが、思いがけない被害や加害につながることも少なくありません。

青少年をこうした危険から守るためにも、地域や家庭、学校が連携し、温かく見守り、安心して過ごせる環境を築くことが、子どもたちの健全な育成へとつながるものと考えております。

補導委員の皆様にはご多用のなか、街頭見回りやあいさつ運動などに熱心にお取り組みいただいておりますが、一人ひとりのあたたかな声かけや思いやりが、子どもたちの未来を支える大きな力となります。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



夏休み見守り活動



今年初めてやまびこ祭りの見守り活動を行いました！！

- ・親子連れが多く子どもだけの参加は少なかった。巡視をしていると、子どもたちの方から「こんにちは」とあいさつしてくれることも多く、お祭りを健全に楽しんでいる様子が伺えました。大きな問題を感じることなく、皆がお祭りを盛り上げようとしていて、大人の皆さんがしっかりと子どもたちの様子や参加者の安全に気を使っていたと感じました。大きなトラブルがなく、無事に巡視活動ができました。ゆっくりと市内を巡りながら、イベントの様子や、参加者の様子を見て回りました。気になることは特にありませんでした。
- ・普段子どもたちに会うことはないのにこんなに大勢の子どもたちを見て驚いた。このお祭りには外国の人たちも多く見かけた。やまびこ祭りも国際色豊かになった。やまびこ祭りも活気があり日本は平和な国だと実感した。このような祭りは絶やすことなく、将来のこどもたちにも思いっきり祭りを楽しんでもらいたい。



7月に

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

「青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間」

「社会を明るくする運動」

「暴走族追放強化期間」

「薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ』普及運動」 大町市では実施しました。

「信州あいさつ運動」 『信州あいさつの日』は毎月11日です。

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」 の街頭啓発活動

7月23日（木）午後5時からフレスポ大町で柳原新市長、北アルプス振興局副局長、大町警察署、市内の各種団体の会長さん達に集まっていたき、ティッシュやビラを手渡し、街頭啓発活動を行いました。



青少年育成懇談会 青少年に関わって いる各種団体が集まり、学習会開催

子どもとの目線を持たせること。美麻小中学校特任校制度当初揺れた。誰もやっていない。多様性のある子が多い中で子どもは成長する。今まで聞いてもらえず反発していた子が「自由でいいんだ」との思い。トラブルを乗り越える。7、8、9年になるとどう対応すればいいのか、わかってくる。例として折り紙に特化していた子の例。生きる活動ができる。

テストだけでははかれないものがある。

不登校の子が学校が楽しいというように変わってくる。

子どもは変わってくる。子どもは変わる。

多様性のある子どもたちと一緒に育ちあう。

多様性は当たり前。

7月24日（金）大町市役所西庁舎2階西会議室で午後6時30分から開催しました。

講演

講師：美麻小中学校地域学校

協働コーディネーター

文科省総合教育政策局 CS マイスター

前川 浩一 さん

演題：地域協働による学びづくり

コミュニティー・スクールとは

美麻小中学校の実例を交えてお話しいただき、とても分かりやすく、改めてコミュニティー・スクールについて理解することができました。ありがとうございました。



6月17日（水）午前8時～9時 大町岳陽高校正門前で実施

岡会長と事務局が参加し岳陽高校生にひとり一人声をかけリーフレットを手渡しました。

6月28日（日）午前10時～11時30分

宮野副会長と事務局で参加。フレスポ大町デリシア大町店、マツモトキヨシ、ナフコ店舗前で店舗利用者に声をかけながらリーフレット・ティッシュを手渡しました。併せてガールスカウトの児童の皆さんが募金を呼びかけ27,288円の街頭募金が集まりました。みなさまありがとうございました。

覚せい剤、最近では大麻の使用（クッキーやグミに入っている）が若い人たちに増えて来ているといえます。

なかなか若者に情報が伝わらないと言われています。一緒に行動する所から始めていきます。 ダメ。ゼッタイ

薬物乱用防止

「6. 26 ヤング 街頭
キャンペーン」実施

ダメ。ゼッタイ

環境浄化・犯罪抑止活動・あいさつ運動

今年は5月12日（火）から始動！！

活動記録から

- 5月12日（火）大町北部小学校、5月19日（火）大町南部小学校において、7時30分から初めて朝の活動を行いました。登校時のあいさつは初めてでしたが、両校とも児童の皆さん元気よく「おはよう」と大きな声であいさつをしてくれました。とてもすがすがしく、気持ちの良い朝でした。
- 中高生の下校時に市街で出会う中高生にこちらからあいさつすると、大抵の子はあいさつを返してくれた。バイパス沿いの補導の草が非常に伸びており、歩きづらく、学生の通学に支障をきたすと感じるほどだった。
- 交差点に捨てられているたばこの量が非常に多い。特に草刈りをされていない歩道の脇に多い感じがした。
- 巡視の前に大町北部小学校教頭から要注意スポットの聞き取りをする。子ども達全員があいさつを返してくれる。中には『頑張ってください』と逆に励ましを受ける。暑い季節は元大町西小学校の木陰を歩くことは可能かもしれない。



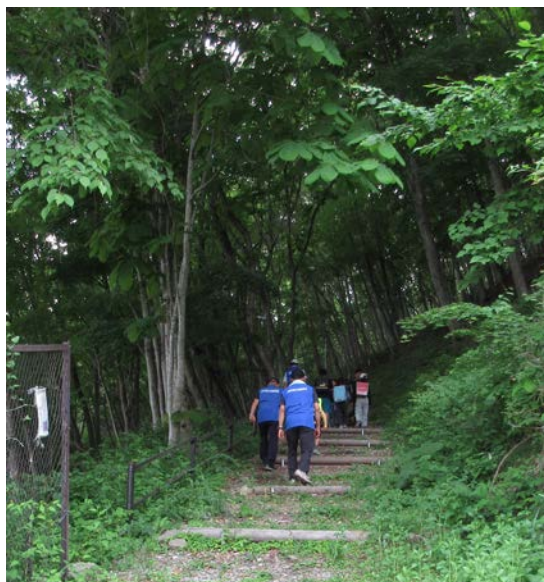
- 新年度始まったばかりで登下校時の新環境を今しばらく注視する必要がある。

- 美麻小中学校は基本的にバス通学で玄関前に集

合し北部方面、南部方面の2台のスクールバスに乗り込み帰宅しました。その他の生徒は支所横の児童センターで過ごします。参加者はバスについて行きバス停にて見守り活動を行いました。最近の熊の情報もあり、バス停からは一人で帰宅する子どももいる為注意が必要かと思います。



巡視する補導委員



- 八坂小中学校切久保集落方面に同行下校をする。特に問題なく下校できたが、車がほとんど通らないため、横に広がる傾向があり注意したい(3~4人横に並んで歩く時があった)
時間どおりに到着することより、事故なく到着することを目標に、遅れがちな児童を責めないで協力して歩いて欲しい(問題になる程ではないがやや攻める傾向があった)
- 出口道路の横断歩道で自転車通学の生徒が停止せずそのままのスピードで渡っていくのが数名おり、危険だと感じた。歩行者もいたので、自転車から降り、押して渡った方が良いのではと思った。

市内小中学校・義務教育学校 PTA・大田市青少年補導委員との合同見守り活動
「あいさつ運動」「通学路巡視」「環境浄化」が7月13日（月）から始まりました

今年は市内小学校が大町北部小学校と大町南部小学校に再編されて初めて7月13日（月）両校で行われました。毎日暑い日が続いていますが元気な声であいさつが返ってきました。全般に子どもたちから「こんにちは」「さようなら」・・・大きな声であいさつが返って来ています。「ご苦労さま」ということばを掛けてくれる児童・生徒がいて、感激しています。自然に挨拶ができるようになって来ていてうれしいことです。あいさつは大事ですね。



環境浄化活動は以前よりゴミが少なくなってきました。これも皆さんのおかげだと感謝しています。しかし、タバコの吸い殻のポイ捨ては多く残念な事です。児童生徒にはきれいな道路を通学して欲しいという願いから環境浄化活動（ゴミ拾い）これからも続けて行きます。

たばこの吸い殻は捨てずに持ち帰りましょう

地域の子どもは地域で見守り育てましょう！

市内小中学校、義務教育学校 PTA と大田市青少年補導委員と
大田市子ども育成協議会の合同研修会を開催しました



6月30日（火）18時30分からサン・アルプス大町2階の大会議室を会場に開催されました。今年の講演会は

講師：子どもとメディア信州 代表 松島 恒志さん

演題：「スマホやネットと上手に付き合える子ども」

— 大人、地域が子どもを育てる —

メディアは苦手だと言っている時代になって来ています。少しでも理解して、できることをやって行こうということでここ数年続けて合同研修会でスマホ・ネット関係を取り上げて開催しています。

【講演を聞いて】

- ・青少年がかなりのパーセントで携帯を所持している中で、lineを使うため電話帳を持つ必要がないという話には驚いた。
- ・闇バイトについて子どもたちは自分の好む情報のみで広く情報を得ていないので「闇バイト」のことすら知らない。子どもたちへのきちとした教育が必要ではないか？
- ・SNSについて外国では規制している所があるが、日本ではしていない。このことについて質問してみたかった。

SNSについてはかなりの問題があるようで市内の小中学校でも学習会を開催している。 ・とても分かり

易かった・・・との感想をいただきました。

大人、地域が子どもを見守り

育てていきましょう



あいさつ運動・合同見守り活動

PTA の皆さんと青少年補導委員と当日の行動について丁寧に打合せいただきました。異常な暑さが続いています、熱中症にならないよう注意して行動していただきたいと思います。

第51回長野県青少年補導活動 推進大会 10年以上表彰

清水 章 さん（全域委員） 受賞

清水さんにおかれましては大町市青少年補導委員として永年ご活躍いただきました。ありがとうございました。
おめでとうございます。



大北防犯連合会防犯功労者表彰

竹内 秀彦さん（1班委員） 受賞
小林 一夫さん（6班委員） 受賞

竹内秀彦さん、小林一夫さんにおかれましては、大町市青少年補導委員として永年にわたりご活躍いただきました。
今回防犯功労者表彰を受賞されました。
おめでとうございます。

大町市青少年育成市民会議会長賞

清水 章 さん（全域委員） 受賞

清水さんにおかれましては10年間大町市青少年補導委員としてご苦労いただきました。ありがとうございました。大町市青少年育成市民大会で受賞されます。
おめでとうございます。



第51回長野県青少年補導活動推進大会 ～伸びよう 伸ばそう 青少年～

7月9日（木）塩尻市文化会館（レザンホール）で開催され、青少年補導委員さん、事務局7人で参加しました。

全域委員の清水章さんが10年以上青少年補導委員としてご苦労されたということで表彰されました。おめでとうございます。

内容は 補導活動事例発表 どこも課題を抱えているようです。

講演会 演題 「子どもとのコミュニケーションを考える」

講師 信州大学学術研究院・教育学系 上村恵津子さん



子どもが転んだ時の対応①「痛くない 泣かない」②「痛かったね よしよし」①の場合は安心感を味わったことがない（不安・イライラ感）②の場合は困難な状況にも しなやかに適応して生き延びることができる。子どもとのコミュニケーションの方法を考え「よしよし」というように安定することができる声かけ体験が大切である。

青少年補導委員班長・全域補導委員と小・中学校生徒指導担当教諭との連絡会

7月6日（月）市役所西庁舎で情報交換を目的に行われました。

岡会長のあいさつ、議事進行で始まりました。学校の先生からは、各学校の児童・生徒の取り組み、よい面・課題についてお話しいただきました。大町南部小学校・大町北部小学校がスタート、小さな問題はあるようですが、楽しく力を合わせ音楽会が無事終了良かったです。SNSの問題はあるようで、各学校では学習会を進めています。補導委員の皆さんには活動しての感想等お話ししていただきました。



補導委員のみなさんよろしくお願いいたします（敬称略）

令和8年度 大町市青少年補導委員 （任期R8年4月1日～R9年3月31日）

氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区
伊藤貴広	五日町	西牧紀子	幸町	栗林守	泉	山田篤	不二塚町
竹内秀彦	旭町	宮崎平	北原町	勝野智之里	清水	柳澤良輔	中原町
岡秀子	神栄町	岡村穂奈美	桜田町	松下美樹	清水	田中剛	三日町
山崎孝子	神栄町	高椅勇太	松崎	中山昌夫	清水	鷲澤徳司	栄町
松下俊樹	仁科町	鮎貝昌敏	館ノ内	太田友子	下一	松田牧男	俵町
勝野一徳	白塩町	湯浅信一	社団地	南澤利佳	下一	横山義夫	俵町
金谷裕樹	大黒町	八木正	宮本	渡辺美紀	海の口		石原
高橋順子	山田町	鷹巣敦	曾根原	遠藤久雄	仁科郷	高椅文男	舟場
宮澤清	九日町	小澤邦年	上一本村	傳刀佳代子	借馬	伊藤賢市	青具
	堀六日町	坪田真理	上一西村	海川明文	西原	菅野弘子	千見
北澤阿久里	高見町	小林一夫	上一西松原	堀貞昭	若原町		
小澤悟	大新田町	今溝隆弘	上一松原	西山正一	大原町	宮野典夫	全域委員
小林則康	大新田町	藤巻英幸	上一高瀬	古畑晃	源汲	清水章	全域委員
北澤猛志	南原町		上一住宅	合津徳夫	二ツ屋	小山学	全域委員
北條一夫	西若宮町	一柳健太郎	須沼	眞嶋強志	野口	竹村光吉	全域委員
村上昭彦	宮田町	中山嘉明	西山		高瀬分譲地	松澤紀行	全域委員
	十日町	吉田一美	西山住宅				